

あつみ ようちえん通信

vol.39 2022

企画・編集:(株)ASO



あつみのピカイチ☆彌

おひさま保育

『芝滑り』に行ってきました!
スリルいっぱい、疾走感がたまらない。



11月に取材しました。

自然の中で 風を感じて！

Let's 芝滑り

おもしろくて、楽しくて
何度も何度も滑ったよ！！

園バスを走らせること約40分。目的地の薹巻公園はのどかな田園風景が広がり、公園中央の築山からは360度周囲の山々を遠望できる絶景の地です。
芝滑りをするのは築山の斜面、傾斜は40度近くありそう…。
ワクワクドキドキで築山に向かいます。

レポーター あきもとさちこ



おひさま保育



普段はおとなしい子も笑顔いっぱい。
本当に楽しそう！

「園内ではおとなしい子なんですよ」（先生）という子も、お友だちと一緒にとても楽しそう。「みんなと滑れた！」ということが自信につながっていくかもしれません。「こんなことをしたよ！」「できたよ！」と、帰園するや誰かに話したくなりそう。得意げにネ。



園の外に出かけると、「この子にはこんな面もあった」という発見がよくあります。園内とは違った環境で多様な体験ができる『おひさま保育』は、子どものいろんな面を引き出すよい機会にもなっています。（担任）



滑り方と約束



●段ボールそりの使い方

段ボールの網を両手で持つ／お尻に敷く／両足を広げる
体重を背中の方へ移す

●約束

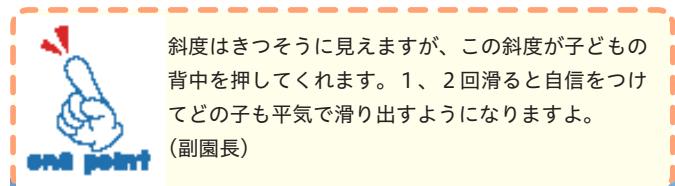
滑り終わったら芝の両はじから坂を上ってくる



→左記QRコードから当日の「芝滑り」の様子がご覧になります。
<https://youtu.be/rVOYGLAkMNg>

うれしくてたまらない、
笑顔がはちきれちゃうよ～

見下ろすとかなりの急斜面です。ドキドキしながら不安げに滑り始める子どもたち。ところが『ワア～』『キヤ～』『おもしろい』の歓声が瞬く間に湧きおこります。滑っては坂道ダッシュで登り、再び滑るを飽くことなく繰り返す子どもたち。爽やかな秋空に笑顔が満開でした。



斜度はきつそうに見えますが、この斜度が子どもの背中を押してくれます。1、2回滑ると自信をつけてどの子も平気で滑り出すようになりますよ。

(副園長)



キヤー！



ワア！



光2組のお友だち



光1組のお友だち



おひさま保育で出かける先は、
ほぼ14箇所(卒園までに)



おひさま保育では、園バスに乗って30分程度を目安に自然公園、農園、科学文化施設などに出かけています。幼稚園周辺には素晴らしい所がたくさんあります。これをきっかけにご家族でも出かけていただけだと嬉しいですね。(手焼きせんべい体験は1時間ほどかかります)(園長)



おにぎり弁当
おいしいね!



取材を終えて

驚いたのは子どもたちのテキバキとした動きです。取材する私たちも置いていかれそうで慌てる場面もありました。視界の開けた公園に吹く風は爽やかで、久々においしい空気を堪能した取材でした。

